

ディーラーマニュアル

ロード	MTB	トレッキング
シティツーリング／ コンフォートバイク	アーバンスポーツ	E-BIKE

MTB ホイールセット

MTB

XTR

- WH-M9000-TU-R-29
- WH-M9000-TU-F15-29
- WH-M9000-TU-R12-29
- WH-M9000-TL-R-29
- WH-M9000-TL-F15-29
- WH-M9000-TL-R12-29
- WH-M9020-TL-F15-29
- WH-M9020-TL-R12-29
- WH-M9000-TL-R-275
- WH-M9000-TL-F15-275
- WH-M9000-TL-R12-275
- WH-M9020-TL-F15-275
- WH-M9020-TL-R12-275

DEORE XT

- WH-M8000-TL-F-29
- WH-M8000-TL-R-29
- WH-M8000-TL-F15-29
- WH-M8020-TL-F15-B-29
- WH-M8000-TL-R12-29
- WH-M8020-TL-R12-B-29
- WH-M8020-TL-F15-29
- WH-M8000-TL-F15-B-29
- WH-M8020-TL-R12-29
- WH-M8000-TL-R12-B-29
- WH-M8000-TL-F-275
- WH-M8000-TL-R-275
- WH-M8000-TL-F15-275
- WH-M8000-TL-F15-B-275
- WH-M8000-TL-R12-275
- WH-M8000-TL-R12-B-275
- WH-M8020-TL-F15-275
- WH-M8020-TL-F15-B-275
- WH-M8020-TL-R12-275
- WH-M8020-TL-R12-B-275

目次

重要なお知らせ	3
安全のために	4
使用工具一覧	9
取付け	11
タイヤサイズ	11
カセットスプロケットの取付け	12
ディスクブレーキローターの取付け	12
メンテナンス	14
スポークの編み方	14
スポークの交換	16
分解と組立	17
フリーホイール部の交換	31
チューブレステープの交換	33
チューブラータイヤ用リムのご使用に関する注意事項	35
チューブレスタイヤの脱着方法	36

重要なお知らせ

- ディーラーマニュアルは自転車安全整備士、自転車技士など専門知識を有する方を対象としています。
専門知識のないユーザーがディーラーマニュアルを参照して、部品を取付けないでください。
記載されている内容に不明な点がある場合は絶対にご自身で作業しないでください。購入された販売店、または代理店へご相談ください。
- 各製品に付属している取扱説明書も併せてよくお読みください。
- ディーラーマニュアルに書かれていない製品の分解、改造はおこなわないでください。
- 全ての取扱説明書・ディーラーマニュアルはウェブサイト (<http://si.shimano.com>) でご覧いただけます。
- 地域のルールや法律に従って製品をご使用ください。

安全のため、必ずこのディーラーマニュアルをよくお読みの上、正しくご使用ください。

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

危険

「死亡や重傷を負うおそれが大きい内容」です。

警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

注意

「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

安全のために

警告

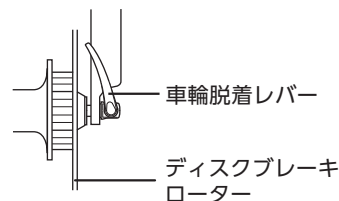
- 製品を取付ける際は、必ず取扱説明書などに示している指示を守ってください。
その際、シマノ純正部品の使用をお勧めします。ボルトやナットなどが緩んだり、破損しますと突然に転倒して重傷を負う場合があります。
- また、調整が正しくない場合、不具合が発生し、突然に転倒して重傷を負う場合があります。
-  部品の交換など、メンテナンス作業中は、安全メガネまたはゴーグルを着用し、眼を保護してください。
- ディーラーマニュアルはよくお読みになった後、大切に保管してください。

以下に記載する事項は必ずお客様にも指導してください

- 乗車前には車輪が固定されていることを確認してください。転倒して大けがをすることがあります。
- このホイールはダウンヒル、フリーライド用に設計されていません。ダウンヒル用に使用されると車輪の変形、あるいは破損により転倒のおそれがあります。
- クイックリリースの使用方法を誤りますと車輪の脱落などにより重傷を負うことがあります。クイックリリースの取扱説明書を十分にお読みください。
- 乗車前にはスポークの折れ、緩み、リム面のへこみ、キズ、割れなどがないかどうか車輪を点検してください。これらの症状があった場合は使用しないでください。車輪が破損し、転倒するおそれがあります。
- ディスクブレーキキャリパー、ディスクブレーキローターはブレーキ操作により高温になりますので、乗車中、あるいは下車後すぐに触れないでください。やけどを負うおそれがあります。ブレーキシステムの整備は温度が十分に下がったことを確認してから行ってください。
- ディスクブレーキの取扱説明書も十分にお読みください。
- タイヤおよびリムに表示されている適切な空気圧で使用してください。タイヤとリムに最大空気圧の指示がある場合は、低い方の値を超えないようにしてください。
- WH-M9000-TL: 最大空気圧 = 2.8bar / 41psi / 280kPa
WH-M9020-TL: 最大空気圧 = 2.6bar / 38psi / 260kPa
WH-M8000-TL: 最大空気圧 = 3bar / 44psi / 300kPa
WH-M8020-TL: 最大空気圧 = 3bar / 44psi / 300kPa
指示よりも高い空気圧で使用した場合、突然のパンクおよび / または突然のタイヤ外れにより重傷を負うおそれがあります。

< F15 (フロント15mm軸)、R12 (リア12mm軸) ホイール (Thru Axle) >

- このホイールはダウンヒル、フリーライド用に設計されていません。走行状況によりハブ取付軸に亀裂が入ります。結果、軸が折れて転倒し重傷を負ったり死亡事故につながるおそれがあります。乗車前にはハブ取付軸に亀裂がないかどうか十分確認し、不具合を発見した時は使用を中止してください。
- このホイールは専用のフロントフォーク/フレームおよび固定軸との組み合わせでのみご使用になれます。それ以外のフロントフォーク/フレームおよび固定軸との組み合わせでは、自転車の乗車中に車輪が自転車から外れ、重傷を負うことがあります。
- ディスクブレーキローター側に車輪脱着レバーがある場合はディスクブレーキローターと干渉するおそれがあり危険です。手のひらを使って車輪脱着レバーを力いっぱい強く締めても、車輪脱着レバーがディスクブレーキローターに干渉しないことを確認してください。ディスクブレーキローターに干渉する場合は使用を中止して販売店または代理店へご相談ください。
- 車輪脱着レバーの使用方法を誤りますと車輪の脱落などにより重傷を負うことがあります。

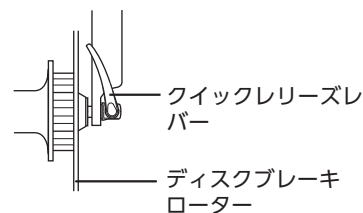


< F15ホイール (Thru Axle) >

- 前車輪の固定方法と固定トルクはそれぞれの前サスペンションフォークによって異なります。前車輪を前サスペンションフォークに取付ける際は必ず前サスペンションフォークの取扱説明書に示している指示を守ってください。取扱いが適切でないと前車輪が脱落して重傷を負うおそれがあります。

< R (リア) ホイール >

- ディスクブレーキローター側にクイックリリースレバーがある場合はディスクブレーキローターと干渉するおそれがあり危険です。手のひらを使ってクイックリリースレバーを力いっぱい強く締めても、クイックリリースレバーがディスクブレーキローターに干渉しないことを確認してください。ディスクブレーキローターに干渉する場合は使用を中止して販売店または代理店へご相談ください。



自転車への組付け、整備に関する事項

- この車輪はディスクブレーキ専用車輪です。リムブレーキには対応しません。

⚠ 注 意

以下に記載する事項は必ずお客様にも指導してください

- パンク修理剤をご使用になる場合は、販売店または代理店へご相談ください。

< WH-M9000-TL/M9020-TL/M8000-TL/M8020-TL >

- この車輪を使用する際は、チューブレステープを必ず使用してください。
- パンクなどの可能性を防ぐため、シマノ純正チューブレステープの使用をお勧めします。
- リムテープは使用しないでください。タイヤの脱着が困難になり、その際タイヤチューブを傷つけることがあり、突然のパンクによる転倒などのおそれがあります。
- シーラント使用を前提としたタイヤ(Tubeless Readyタイヤなど)をお使いになる場合には、タイヤメーカーに推奨シーラントを確認の上でご使用下さい。

■慣らし運転

- ディスクブレーキには慣らし運転期間があり、慣らし運転がすすむにつれブレーキ制動力が上がっていきます。ブレーキの制動力増加に対し注意を払い順応してください。ブレーキパッドあるいはディスクブレーキローターを交換した場合も同様です。

自転車への組付け、整備に関する事項

- シマノ専用工具 (TL-FC36) でローター取付けリング脱着時、手がディスクブレーキローター外周部に触れないよう注意してください。手を切るおそれがありますので保護手袋を着用してください。
- タイヤは「取付け」の項目のタイヤサイズ表に従ってご使用ください。タイヤに付属している取扱説明書もあわせてよくお読みください。

使用上の注意

以下に記載する事項は必ずお客様にも指導してください

- ハブの内部には注油は行わないでください。グリスが流れ出します。
- 初期フレが出た場合か、使用開始から1,000km走行を目安に販売店でのスポークテンション調整をお勧めいたします。
- 別売り品の専用スポークレンチがあります。
- リムのステッカーが剥がれますので洗浄液や薬品などを使用して車輪を拭かないでください。
- 通常の使用において自然に生じた摩耗および品質の経年劣化は保証いたしません。

自転車への組付け、整備に関する事項

- 車輪の回転が重くなった場合はグリスアップを行ってください。
- 対応リフレクター、スポークプロテクターはスペック表 (<http://si.shimano.com>) でご確認ください。
- シマノ製純正のスポーク、ナット、プラグ、ワッシャーを使用してください。リム、ハブ体を破損するおそれがあります。
- タイヤの脱着方法はタイヤ付属の取扱説明書を参照してください。

手順の説明を主体としていますので、製品イメージが異なる場合があります。

トルク値換算表

N・mをkgf・cmに換算する際は、以下の表を参照してください。

N・m	kgf・cm	N・m	kgf・cm	N・m	kgf・cm	N・m	kgf・cm
0.1	1	20	200	50	500	80	800
0.2	2	21	210	51	510	81	810
0.3	3	22	220	52	520	82	820
0.4	4	23	230	53	530	83	830
0.5	5	24	240	54	540	84	840
0.6	6	25	250	55	550	85	850
0.7	7	26	260	56	560	86	860
0.8	8	27	270	57	570	87	870
0.9	9	28	280	58	580	88	880
1	10	29	290	59	590	89	890
2	20	30	300	60	600	90	900
3	30	31	310	61	610	91	910
4	40	32	320	62	620	92	920
5	50	33	330	63	630	93	930
6	60	34	340	64	640	94	940
7	70	35	350	65	650	95	950
8	80	36	360	66	660	96	960
9	90	37	370	67	670	97	970
10	100	38	380	68	680	98	980
11	110	39	390	69	690	99	990
12	120	40	400	70	700	100	1,000
13	130	41	410	71	710		
14	140	42	420	72	720		
15	150	43	430	73	730		
16	160	44	440	74	740		
17	170	45	450	75	750		
18	180	46	460	76	760		
19	190	47	470	77	770		
		48	480	78	780		
		49	490	79	790		

使用工具一覽

使用工具一覧

製品の組立には下記の工具が必要です。

工 具		工 具		工 具	
	5mm六角レンチ		モンキレンチ		TL-SR23
	17mmハブスパナ		スポークプラグレンチ		TL-FC36
	20mmハブスパナ		TL-LR15		
	22mmハブスパナ		TL-FH15		

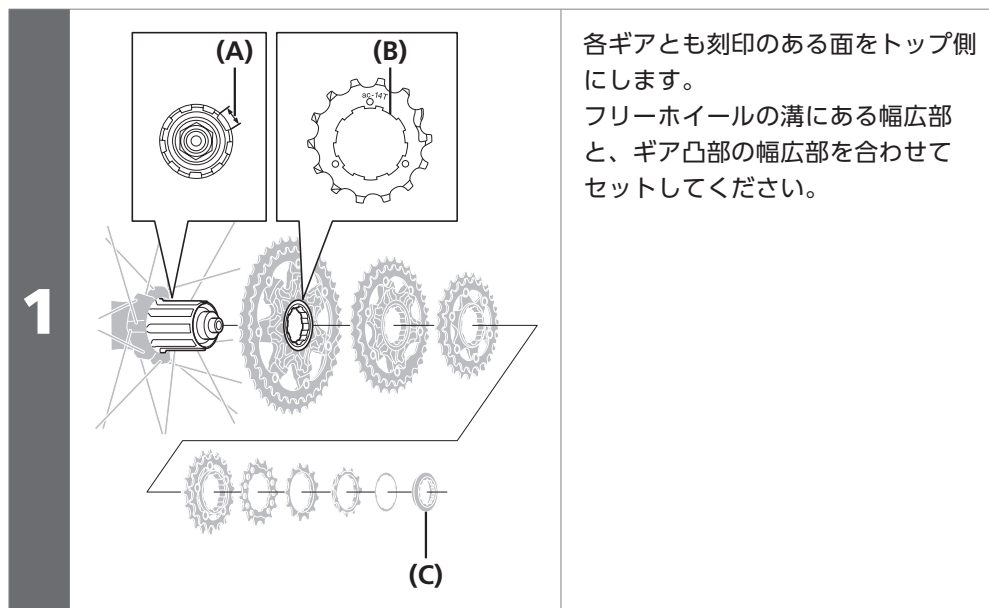
取付け

取付け

■ タイヤサイズ

シリーズ	サイズ	クイックリリースタイプ	Thru Axle タイプ	タイヤサイズ	
XTR	29	WH-M9000-TU-R-29	WH-M9000-TU-F15-29	29x1.90-2.10	
			WH-M9000-TU-R12-29	29x1.90-2.10	
		WH-M9000-TL-R-29	WH-M9000-TL-F15-29	29x1.90-2.25	
			WH-M9000-TL-R12-29	29x1.90-2.25	
			WH-M9020-TL-F15-29	29x2.10-2.35	
			WH-M9020-TL-R12-29	29x2.10-2.35	
	27.5	WH-M9000-TL-R-275	WH-M9000-TL-F15-275	27.5x1.90-2.25	
			WH-M9000-TL-R12-275	27.5x1.90-2.25	
			WH-M9020-TL-F15-275	27.5x2.10-2.40	
			WH-M9020-TL-R12-275	27.5x2.10-2.40	
DEORE XT	29	WH-M8000-TL-F-29 WH-M8000-TL-R-29	WH-M8000-TL-F15-29 WH-M8000-TL-F15-B-29	29x1.90-2.25	
			WH-M8000-TL-R12-29 WH-M8000-TL-R12-B-29	29x1.90-2.25	
			WH-M8020-TL-F15-29 WH-M8020-TL-F15-B-29	29x2.10-2.35	
			WH-M8020-TL-R12-29 WH-M8020-TL-R12-B-29	29x2.10-2.35	
		27.5	WH-M8000-TL-F-275 WH-M8000-TL-R-275	WH-M8000-TL-F15-275 WH-M8000-TL-F15-B-275	27.5x1.90-2.25
				WH-M8000-TL-R12-275 WH-M8000-TL-R12-B-275	27.5x1.90-2.25
			WH-M8020-TL-F15-275 WH-M8020-TL-F15-B-275	27.5x2.10-2.40	
			WH-M8020-TL-R12-275 WH-M8020-TL-R12-B-275	27.5x2.10-2.40	

■ カセットスプロケットの取付け

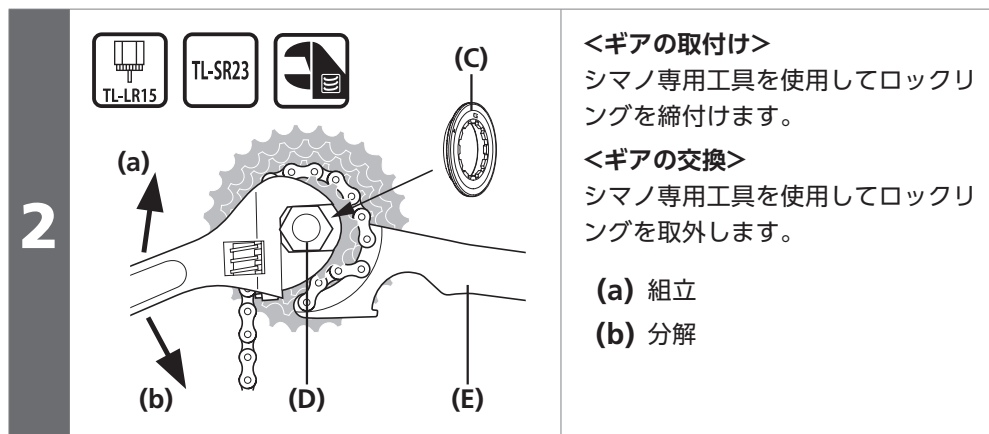


- (A) フリーホイール溝 幅広部
(B) ギア凸部 幅広部
(C) ロックリング



TECH TIPS

カセットスプロケットのイラストは一例です。詳細は使用されるカセットスプロケットのディーラーマニュアルまたは取扱説明書をご確認ください。



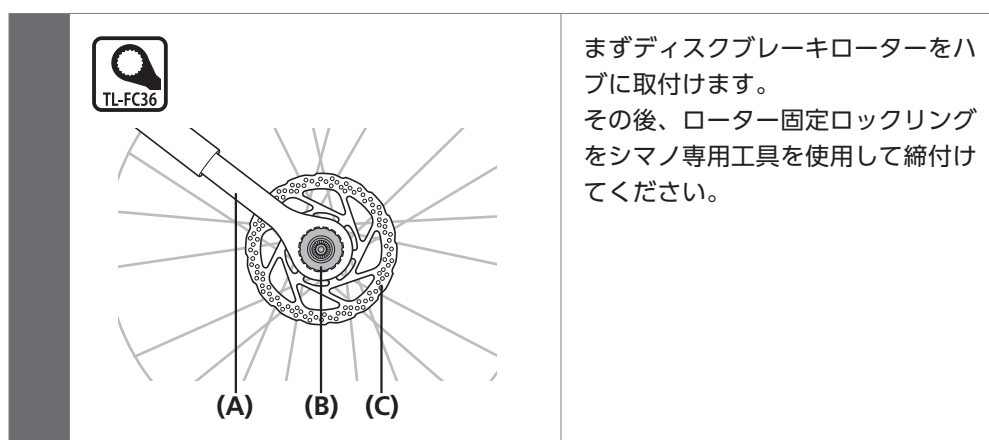
- (C) ロックリング
(D) TL-LR15
(E) TL-SR23

締付けトルク



30 - 50 N·m

■ ディスクブレーキローターの取付け



- (A) TL-FC36
(B) ローター固定ロックリング
(C) ディスクブレーキローター

締付けトルク



40 N·m

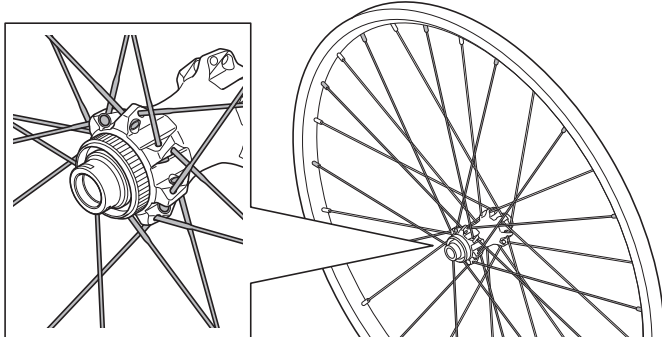
メンテナンス

メンテナンス

■ スポークの編み方

図のように編んでください。スポークの編み方はクイックリリースタイプ、Thruタイプとも同じです。

A

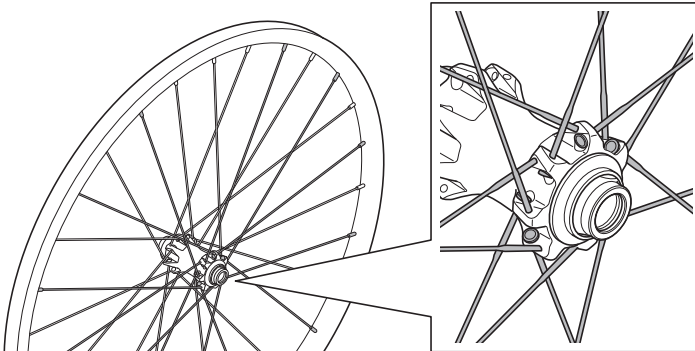


(A) 前用 左側

スポークテンション値

WH-M9000-TU-F15	900 - 1,200 N (90 - 120 kgf)
WH-M9000-TL-F15	
WH-M9020-TL-F15	
WH-M8000-TL-F	
WH-M8000-TL-F15	
WH-M8020-TL-F15	

B



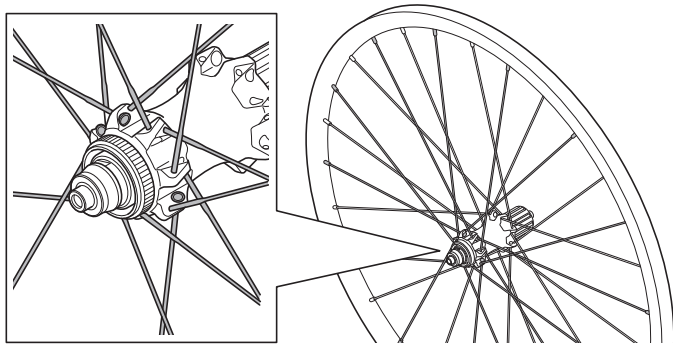
(B) 前用 右側

スポークテンション値

WH-M9000-TU-F15	800 - 1,050 N (80 - 105 kgf)
WH-M9000-TL-F15	850 - 1,200 N (85 - 120 kgf)
WH-M9020-TL-F15	
WH-M8000-TL-F	
WH-M8000-TL-F15	
WH-M8020-TL-F15	

* この数値は目安です。

C

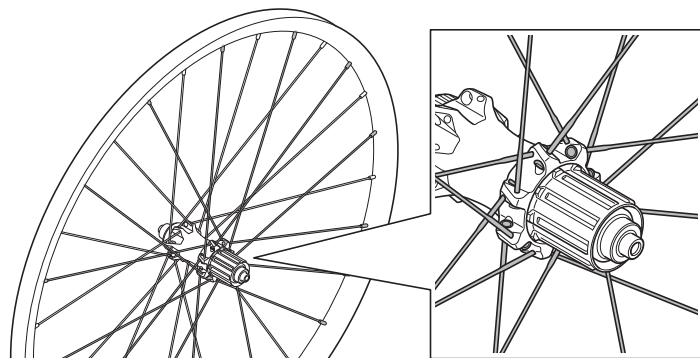


(C) 後用 左側

スポークテンション値

WH-M9000-TU-R12	500 - 700 N (50 - 70 kgf)
WH-M9000-TL-R WH-M9000-TL-R12 WH-M9020-TL-R12 WH-M8000-TL-R WH-M8000-TL-R12 WH-M8020-TL-R12	650 - 900 N (65 - 90 kgf)

D



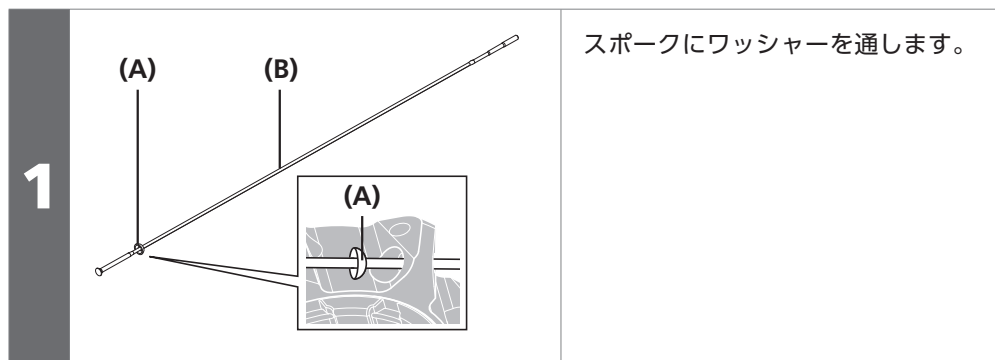
(D) 後用 右側

スポークテンション値

WH-M9000-TU-R12	900 - 1,200 N (90 - 120 kgf)
WH-M9000-TL-R WH-M9000-TL-R12 WH-M9020-TL-R12 WH-M8000-TL-R WH-M8000-TL-R12 WH-M8020-TL-R12	1,000 - 1,300 N (100 - 130 kgf)

* この数値は目安です。

■ スポークの交換

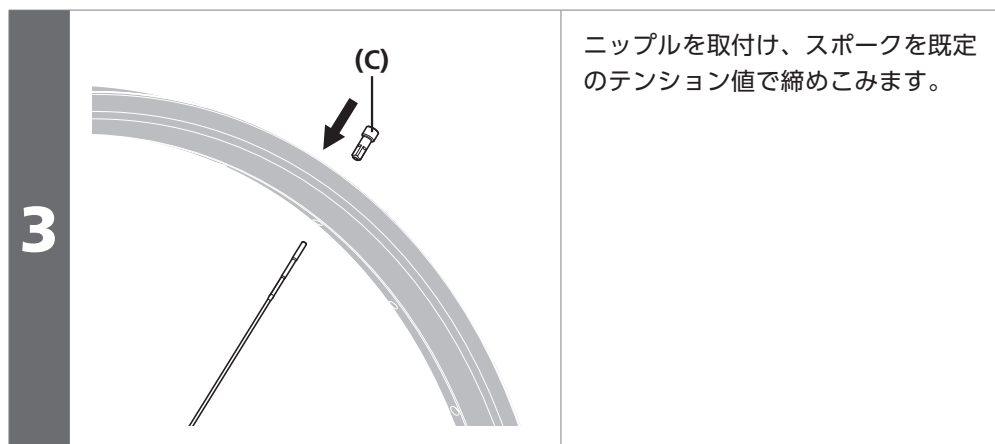
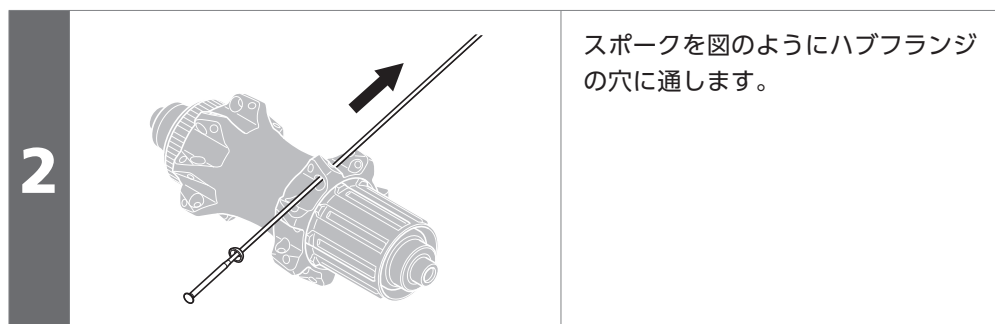


(A) ワッシャー

(B) スポーク

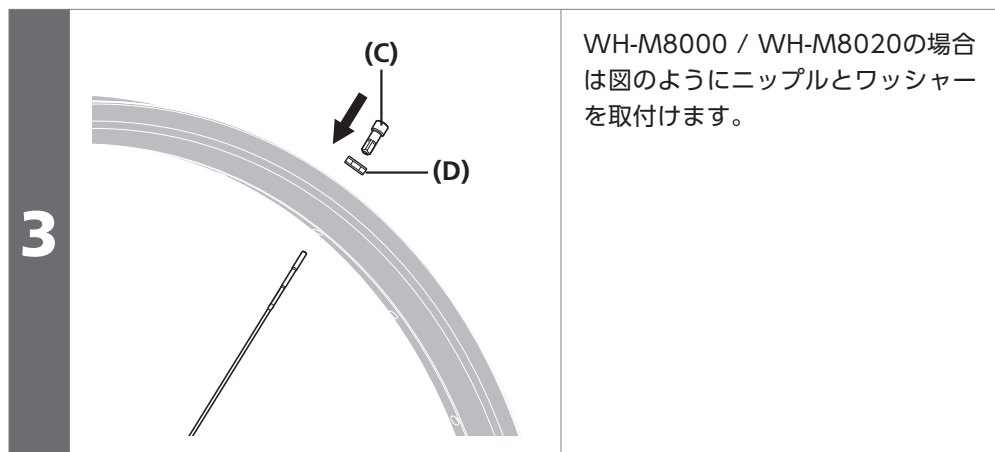
注 意

ワッシャーは、凸面がハブフランジの穴に接する向きでスポークに通してください。



(C) ニップル

<WH-M8000 / WH-M8020の場合>



(C) ニップル

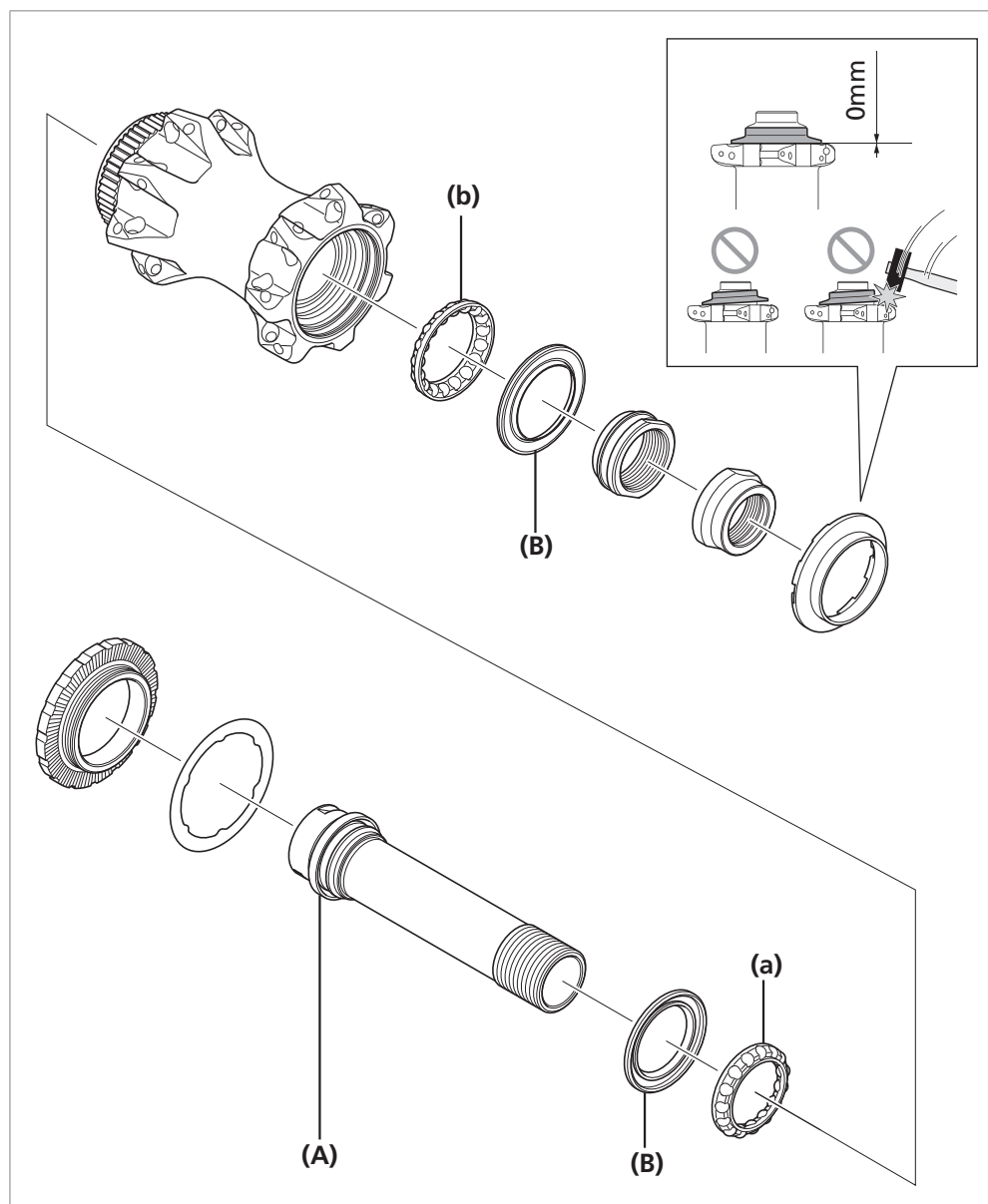
(D) ワッシャー

■ 分解と組立

WH-M9000-TU-F15 / WH-M9000-TL-F15 / WH-M9020-TL-F15

<分解>

図のように分解できます。定期的に各部のグリスアップをしてください。



(A) 防水カバー

(B) シール (リップ部が外側)

(a) グリス塗布：

プレミアムグリス (Y-04110000)

ボール数：15個

ボールサイズ：5/32"

(b) グリス塗布：

プレミアムグリス (Y-04110000)

ボール数：17個

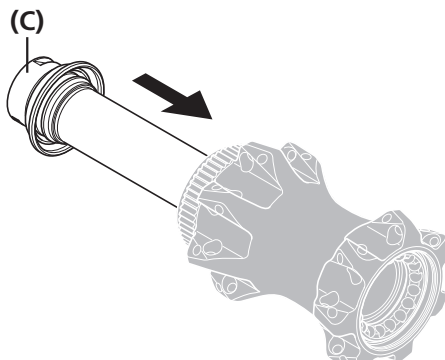
ボールサイズ：5/32"

注 意

- ハブ体左側 (ローター固定セレーショ
ン側) からの分解はできません。
- シール部の脱着は変形に十分気を付
けて慎重に行ってください。再組立時
にはシールの表裏を確認し、奥の当り
まで組付けてください。
- 軸パイプにかしめている防水カバー
は分解しないでください。

<組立>

1



(C) 軸パイプ

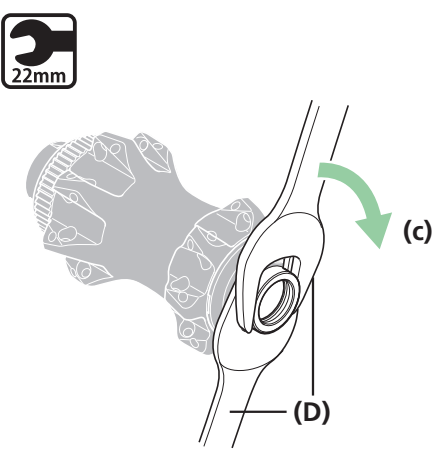
図のように、軸パイプを取付けます。

(C) 軸パイプ



左側の二面部にハブスパナを使用する場合は、過大なトルクが加わらないように注意してください。
破損するおそれがあります。

2



(c) 締付け

(D)

ハブスパナを使用してロックナットを締め付け、ダブルロックしてください。

(D) ハブスパナ(22mm)

締め付けトルク

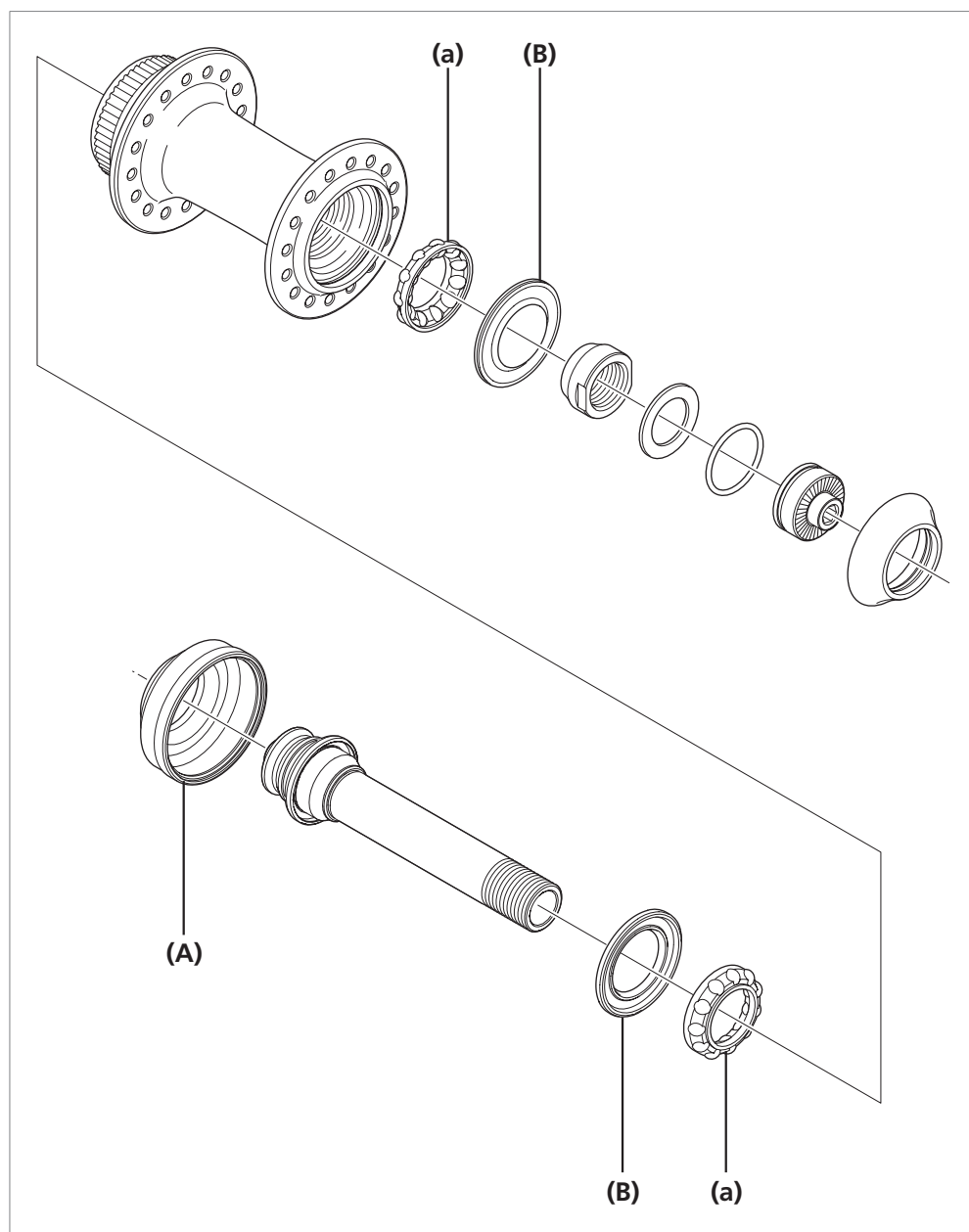


21 - 26 N・m

WH-M8000-TL-F

<分解>

図のように分解できます。定期的に各部のグリスアップをしてください。



(A) ダストキャップ

(B) シール (リップ部が外側)

(a) グリス塗布：

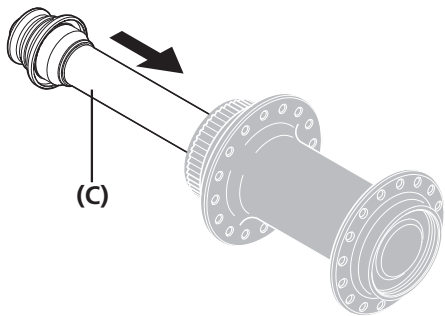
プレミアムグリス (Y-04110000)

注 意

- ハブ体左側 (ローター固定セレーション側) からの分解はできません。
- シール部の脱着は変形に十分気を付けて慎重に行ってください。再組立時にはシールの表裏を確認し、奥の当りまで組付けてください。
- 軸パイプにかしめている防水カバーは分解しないでください。

<組立>

1



(C)

図のように、軸パイプを取付けます。

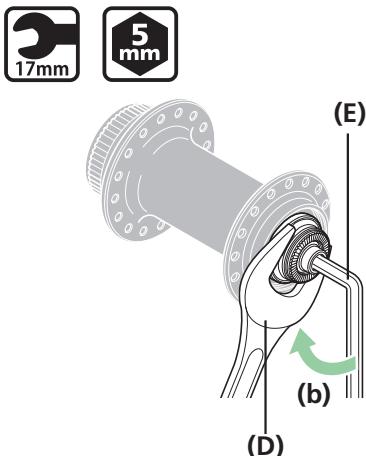
(C) 軸パイプ



TECH TIPS

左側の二面部にハブスパナを使用する場合は、過大なトルクが加わらないように注意してください。
破損するおそれがあります。

2



(D) (E) (b)

ハブスパナと六角レンチを使用してロックナットを締付け、ダブルロックしてください。

(b) 締付け

(D) ハブスパナ(17mm)

(E) 5mm六角レンチ

締付けトルク

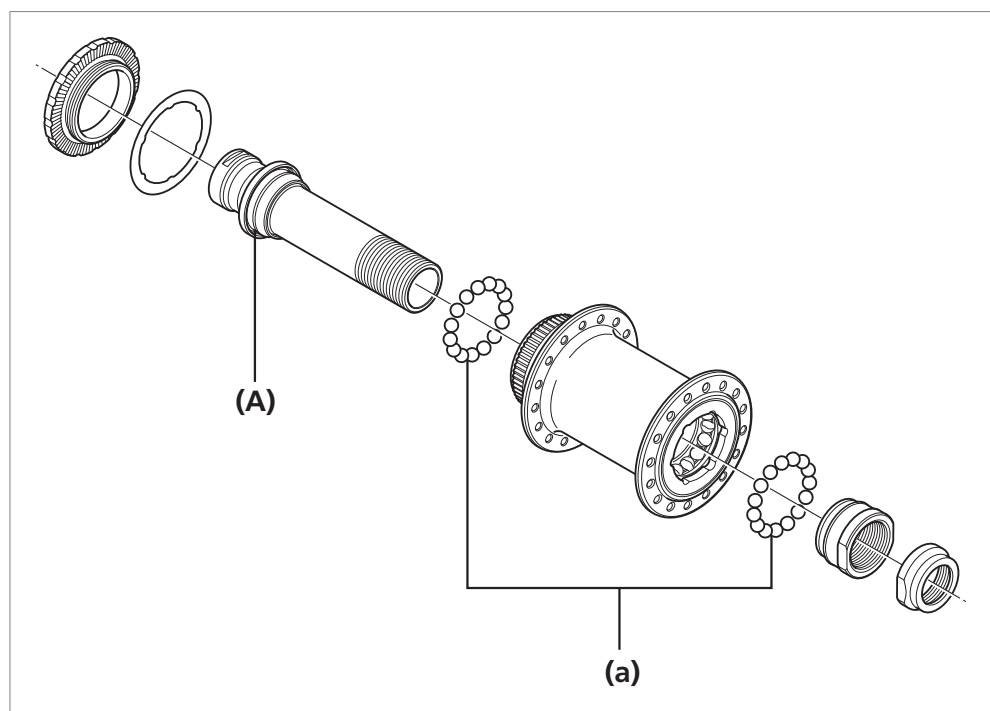


15 - 17 N·m

WH-M8000-TL-F15 / WH-M8020-TL-F15

<分解>

図のように分解できます。定期的に各部のグリスアップをしてください。



(A) 防水カバー

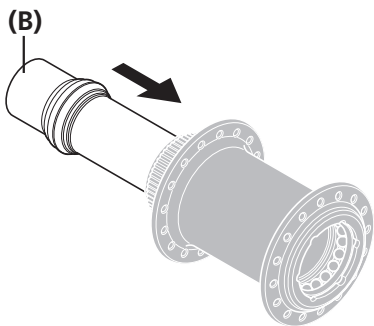
(a) グリス塗布：
プレミアムグリス (Y-04110000)

注 意

- ハブ体左側（ローター固定セレーション側）からの分解はできません。
- シール部の脱着は変形に十分気を付けて慎重に行ってください。再組立時にはシールの表裏を確認し、奥の当りまで組付けてください。
- 軸パイプにかしめている防水カバーは分解しないでください。

<組立>

1



図のように、軸パイプを取付けます。

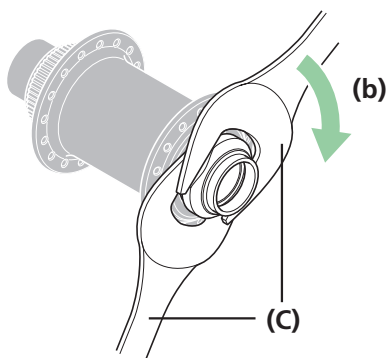
(B) 軸パイプ



TECH TIPS

左側の二面部にハブスパナを使用する場合は、過大なトルクが加わらないように注意してください。
破損するおそれがあります。

2



ハブスパナを使用してロックナットを締付け、ダブルロックしてください。

(b) 締付け

(C) ハブスパナ(22mm)

締付けトルク

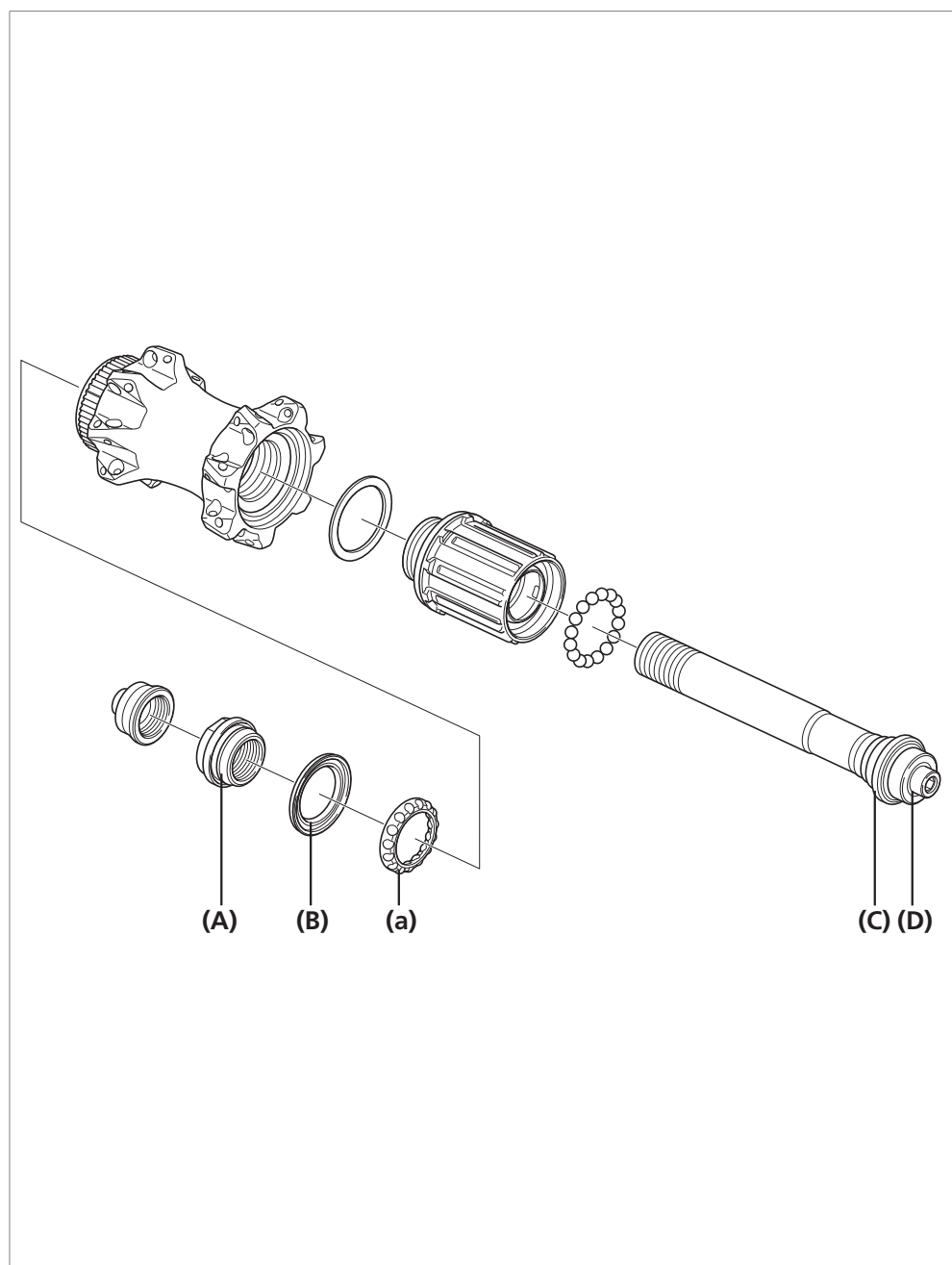


21 - 26 N・m

WH-M9000-TU-R / WH-M9000-TL-R

<分解>

図のように分解できます。定期的に各部のグリスアップをしてください。



(A) 防水カバー付玉押し (分解不可)

(B) シール (リップ部が外側)

(C) 防水カバー (分解不可)

(D) ハブ軸

(a) グリス塗布：

プレミアムグリス (Y-04110000)

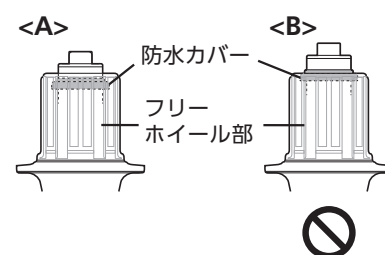
注意

- シール部の脱着は変形に十分気を付けて慎重に行ってください。再組立時にはシールの表裏を確認し、奥の当りまで組付けてください。
- ハブ軸にかしめている防水カバーは分解しないでください。
- フリーホイール部の分解は、トラブルの原因となりますので行わないでください。

注意

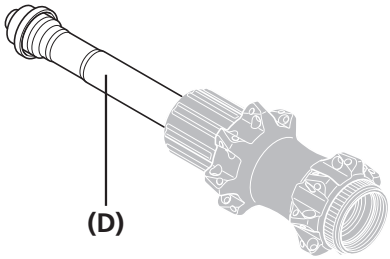
イラスト<A>のように、防水カバーがフリーホイール部に隠れる状態が正しい位置です。

防水カバーがイラストのような状態の場合は、再度組み直してください。



<組立>

1

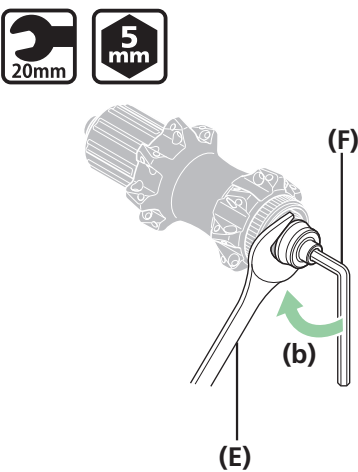


(D)

図のように、ハブ軸を取付けます。

(D) ハブ軸

2



(E) (F) (b)

ハブスパナと六角レンチを使用してロックナットを締付け、ダブルロックしてください。

(b) 締付け

(E) ハブスパナ (20mm)

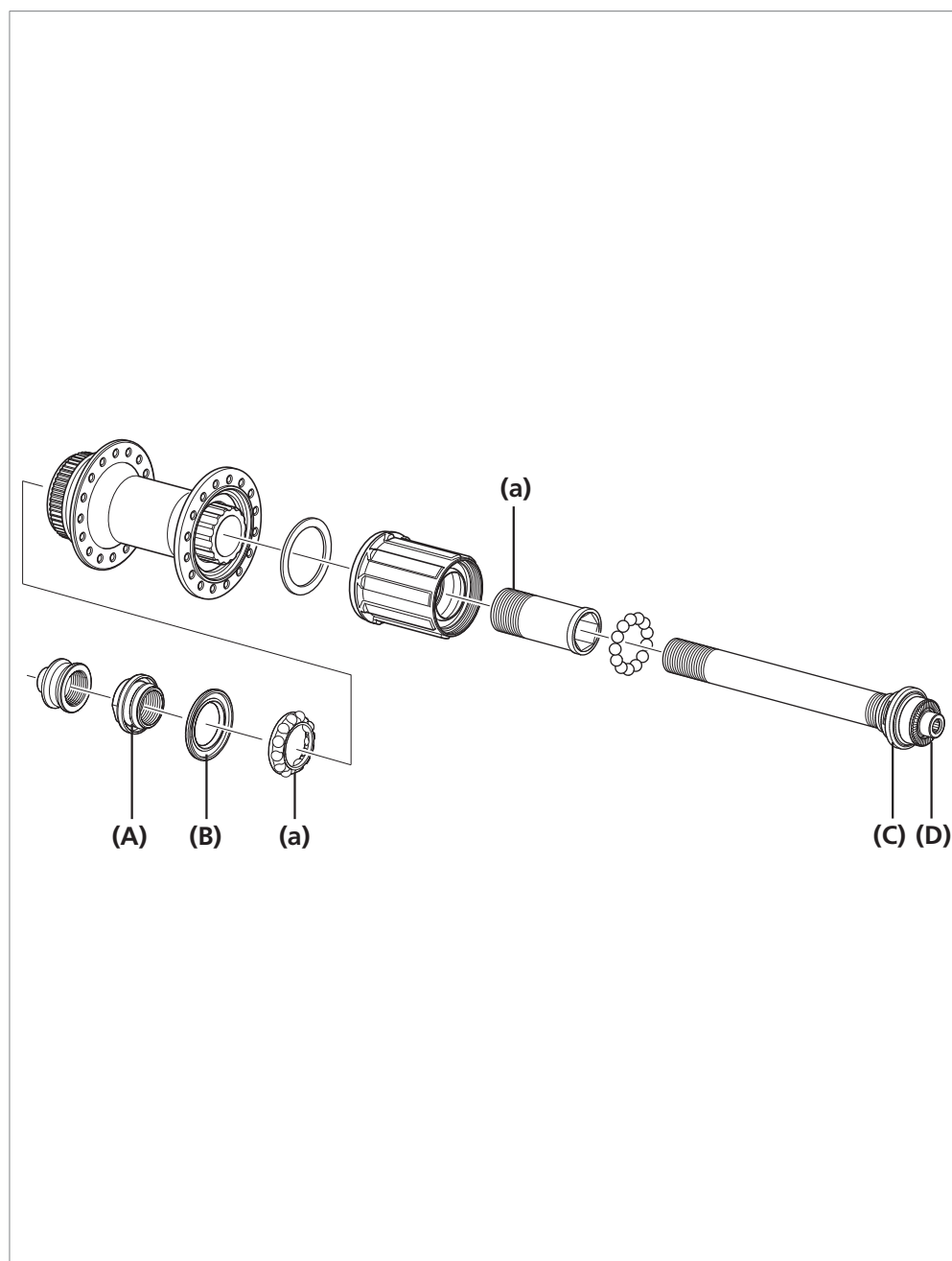
(F) 5mm六角レンチ

締付けトルク	
 20mm  5mm	17 - 22 N・m

WH-M8000-TL-R

<分解>

図のように分解できます。定期的に各部のグリスアップをしてください。



(A) 防水カバー付玉押し (分解不可)

(B) シール (リップ部が外側)

(C) 防水カバー (分解不可)

(D) ハブ軸

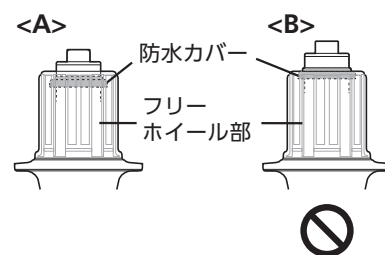
(a) グリス塗布：
プレミアムグリス (Y-04110000)

注 意

- シール部の脱着は変形に十分気を付けて慎重に行ってください。再組立時にはシールの表裏を確認し、奥の当りまで組付けてください。
- ハブ軸にかしめている防水カバーは分解しないでください。
- フリーホイール部の分解は、トラブルの原因となりますので行わないでください。

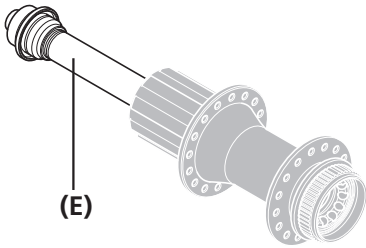
注 意

イラスト<A>のように、防水カバーがフリーホイール部に隠れる状態が正しい位置です。
防水カバーがイラストのような状態の場合は、再度組み直してください。



<組立>

1

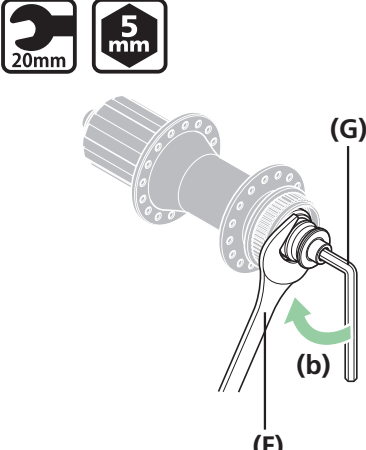


(E)

図のように、ハブ軸を取付けます。

(E) ハブ軸

2



(F) (G) (b)

ハブスパナと六角レンチを使用してロックナットを締付け、ダブルロックしてください。

(b) 締付け

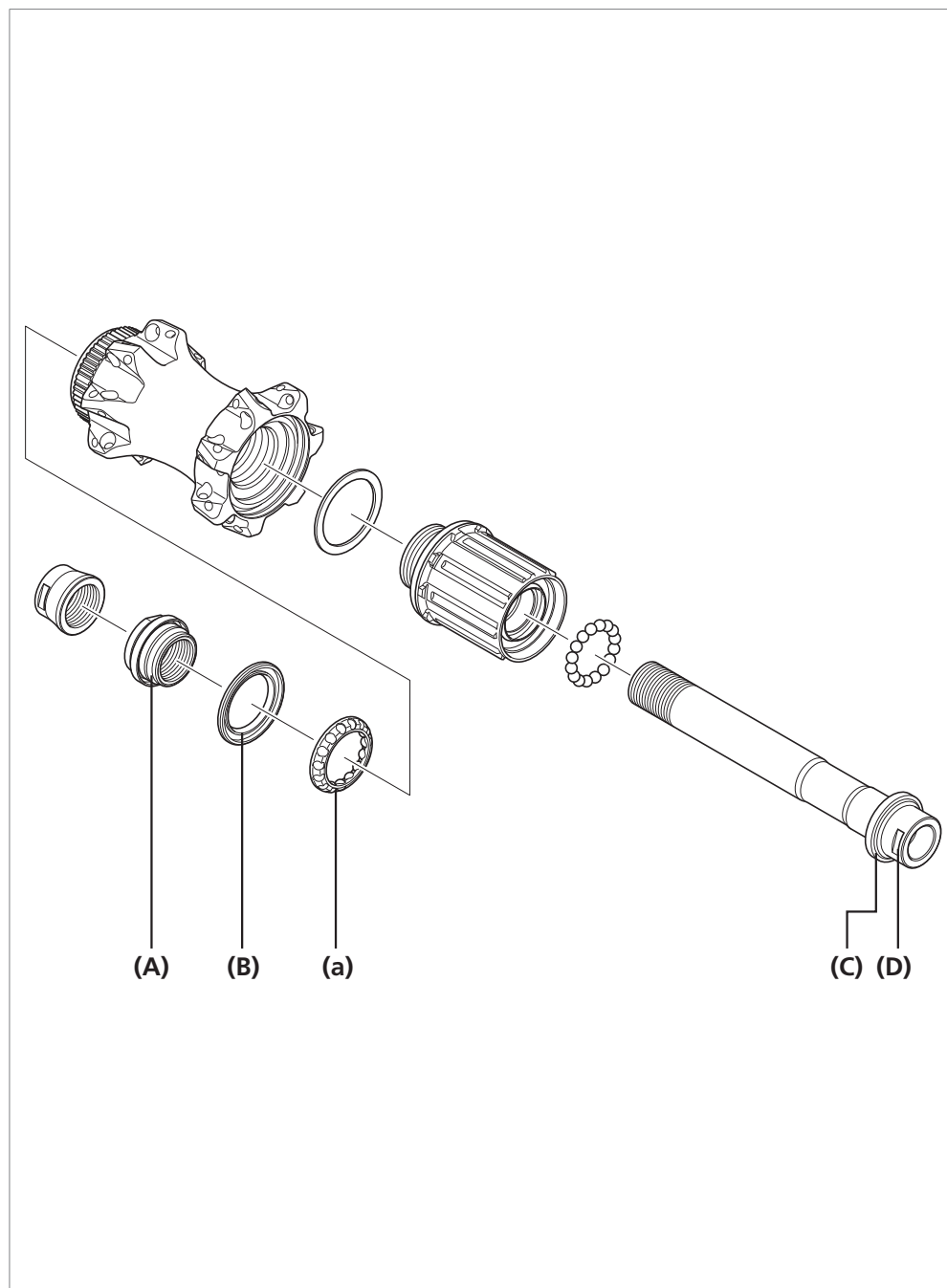
(F) ハブスパナ (20mm)
(G) 5mm六角レンチ

締付けトルク	
 20mm  5mm	17 - 22 N・m

WH-M9000-TU-R12 / WH-M9000-TL-R12 / WH-M9020-TL-R12

<分解>

図のように分解できます。定期的に各部のグリスアップをしてください。



(A) 防水カバー付玉押し (分解不可)

(B) シール (リップ部が外側)

(C) 防水カバー (分解不可)

(D) 右ナット

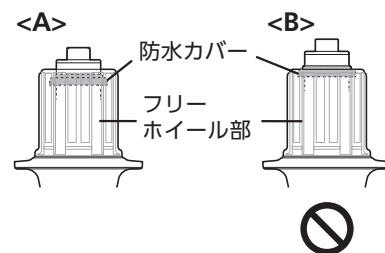
(a) グリス塗布：
プレミアムグリス (Y-04110000)

注意

- シール部の脱着は変形に十分気を付けて慎重に行ってください。再組立時にはシールの表裏を確認し、奥の当りまで組付けてください。
- 右ナットおよび玉押しにかしめている防水カバーは分解しないでください。
- フリーホイール部の分解は、トラブルの原因となりますので行わないでください。

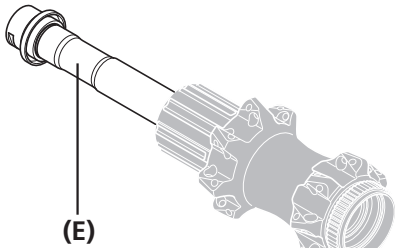
注意

イラスト<A>のように、防水カバーがフリーホイール部に隠れる状態が正しい位置です。
防水カバーがイラストのような状態の場合は、再度組み直してください。



<組立>

1

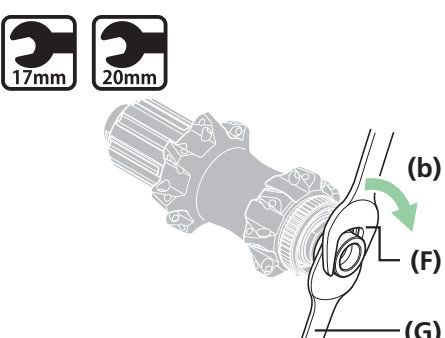


(E)

図のように、軸パイプを取付けます。

(E) 軸パイプ

2



(b)

(F)

(G)

ハブスパナを使用してロックナットを締め付け、ダブルロックしてください。

(b) 締め付け

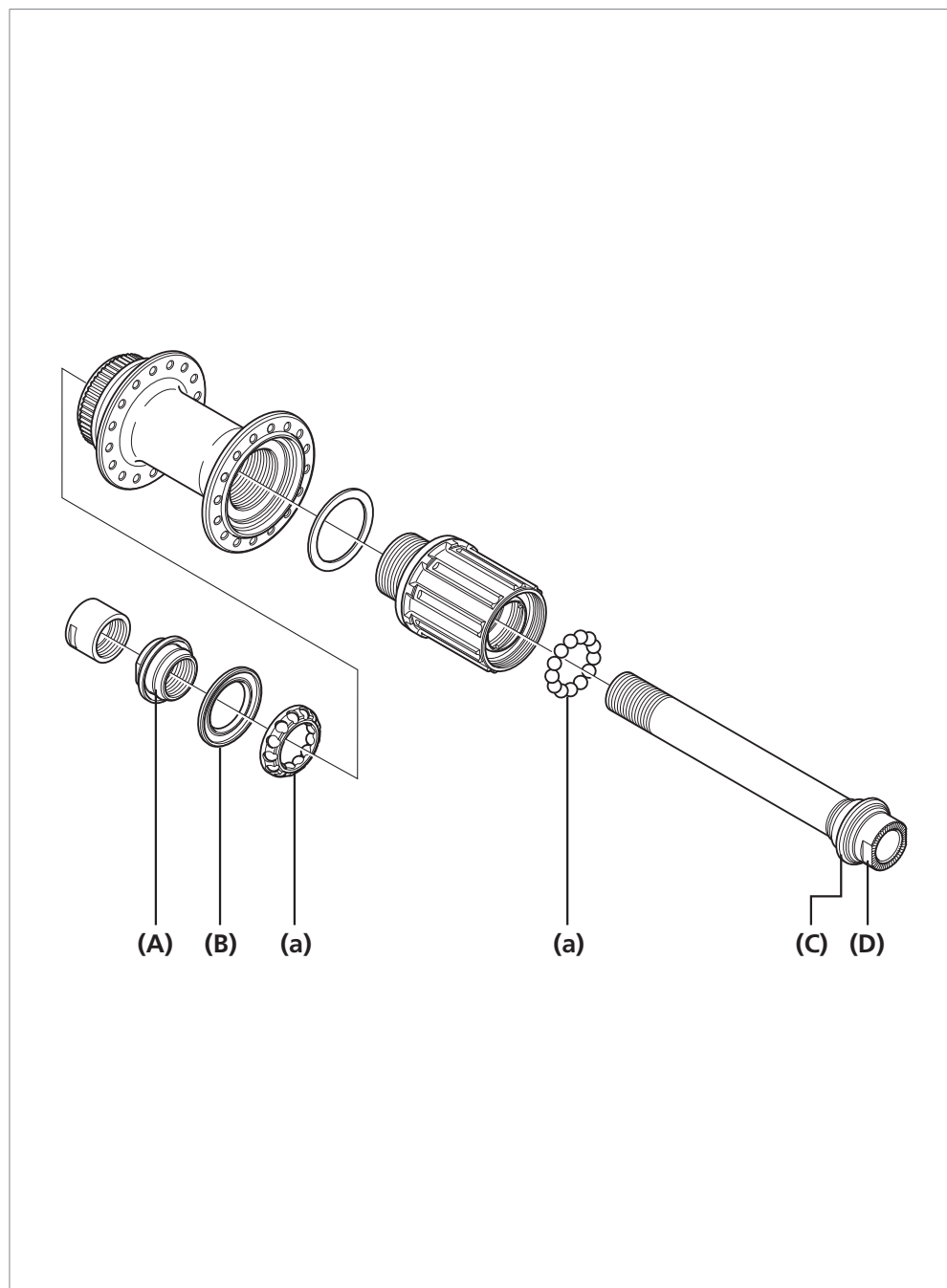
(F) ハブスパナ (17mm)
(G) ハブスパナ (20mm)

締め付けトルク	
 17mm	17 - 22 N・m
 20mm	

WH-M8000-TL-R12 / WH-M8020-TL-R12

<分解>

図のように分解できます。定期的に各部のグリスアップをしてください。



(A) 防水カバー付玉押し (分解不可)

(B) シール (リップ部が外側)

(C) 防水カバー (分解不可)

(D) 右ナット

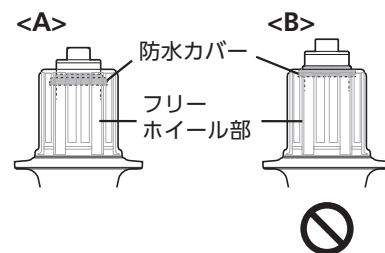
(a) グリス塗布：
プレミアムグリス (Y-04110000)

注 意

- シール部の脱着は変形に十分気を付けて慎重に行ってください。再組立時にはシールの表裏を確認し、奥の当りまで組付けてください。
- 右ナットおよび玉押しにかしめている防水カバーは分解しないでください。
- フリーホイール部の分解は、トラブルの原因となりますので行わないでください。

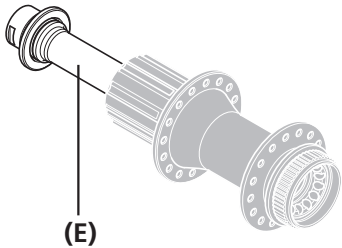
注 意

イラスト<A>のように、防水カバーがフリーホイール部に隠れる状態が正しい位置です。
防水カバーがイラストのような状態の場合は、再度組み直してください。



<組立>

1

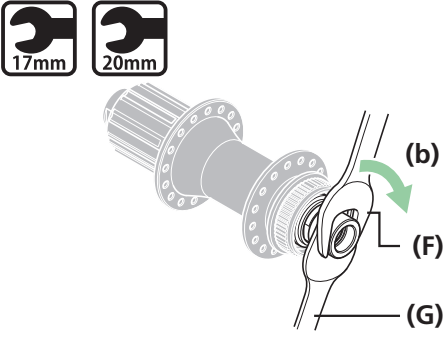


(E)

図のように、軸パイプを取付けます。

(E) 軸パイプ

2



(b) 締付け

ハブスパナを使用してロックナットを締め付け、ダブルロックしてください。

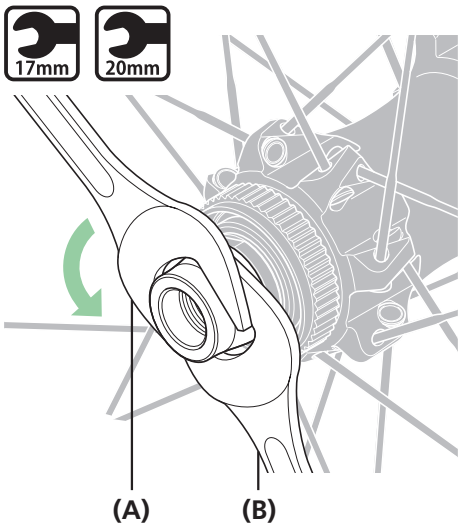
(F) ハブスパナ (17mm)
(G) ハブスパナ (20mm)

締め付けトルク	
 17mm	17 - 22 N・m
 20mm	

フリーホイール部の交換

交換方法はThru Axle タイプで説明しています。クイックリリースタイプの場合は「WH-M9000-TU-R / WH-M9000-TL-R」の項を参考にしてください。

1



ハブスパナを使用して、ダブルロック部のロックナットをゆるめます。

(A) ハブスパナ (17mm)

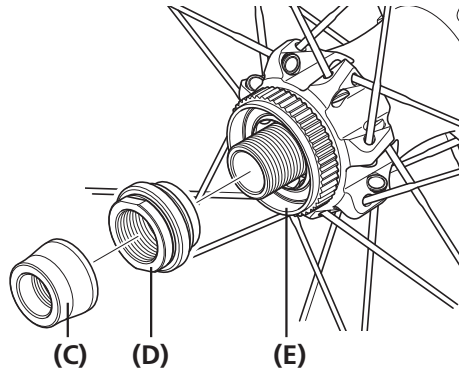
(B) ハブスパナ (20mm)

<WH-M9000-TU-R / WH-M9000-TL-Rの場合>

ハブスパナ (20mm)

5mm六角レンチ

2



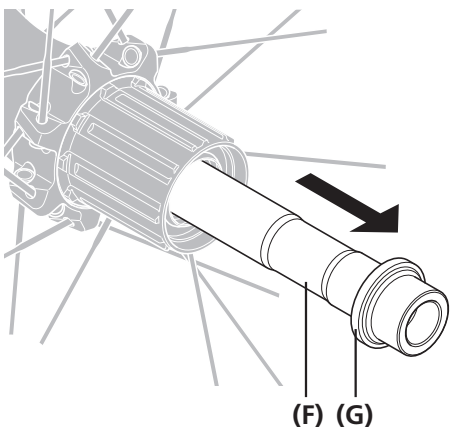
ロックナットと防水カバー付玉押しを取外します。

(C) ロックナット

(D) 防水カバー付玉押し(分解不可)

(E) ローター固定セレーション

3



フリーホイール部側からハブ軸を抜き取ってください。

(F) ハブ軸

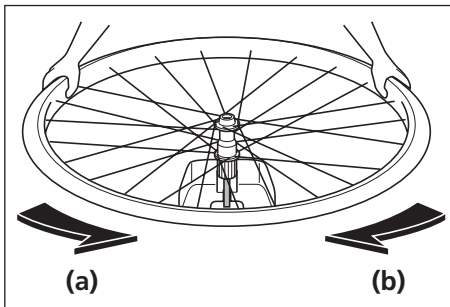
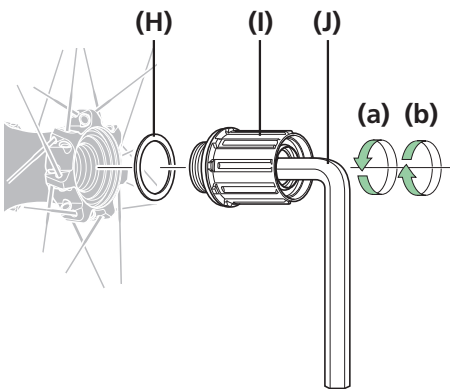
(G) 防水カバー (分解不可)

締付けトルク	
 17mm	17 - 22 N・m
 20mm	

注 意

フリーホイール部側のダブルロック部は分解できません。

4



ハブ軸を抜き取った後、フリーホイール部内のフリーホイール部取付けボルトを取外し、フリーホイール部を交換してください。

- (a) 分解
- (b) 組立

- (H) フリーホイール部当り面間座
- (I) フリーホイール部
- (J) TL-FH15

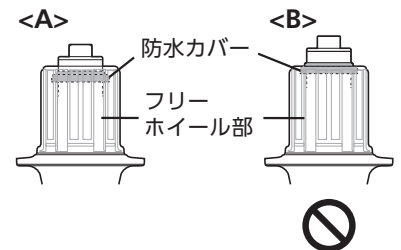
締付けトルク



150 N・m

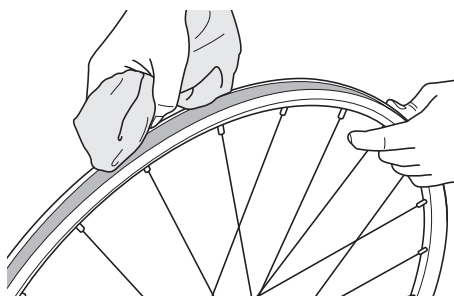
注 意

イラスト<A>のように、防水カバーがフリーホイール部に隠れる状態が正しい位置です。
防水カバーがイラストのような状態の場合は、再度組み直してください。



■ チューブレステープの交換

1

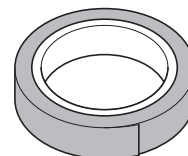


シーラント使用時は、シーラントを綺麗に拭き取ってください。

注意

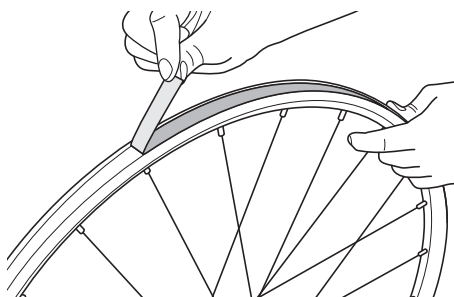
チューブレステープは再利用できませんので交換の際には新しいものを使用してください。

- チューブレステープはリム幅に合ったものを、ご使用下さい。
- パンクなどの可能性を防ぐため、シマノ純正チューブレステープの使用をお勧めします。



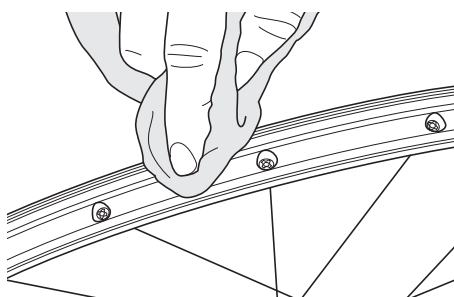
チューブレステープ

2



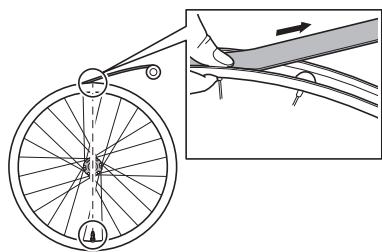
チューブレステープを取外します。

3



リムのテープ貼付け面やリム穴を綺麗にしてください。

4



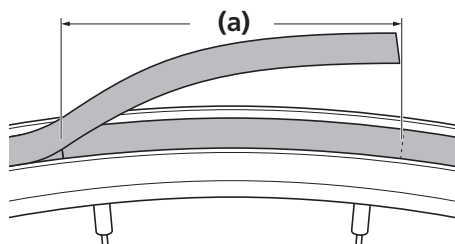
新しいチューブレステープを貼付けます。貼り始めはバルブの反対側から始めます。

TECH TIPS

- テープが破れますので、工具などは使わずに手で貼付けてください。テープを貼る際は、手である程度引っ張りながら貼付けます。
- チューブレステープは、下図のように片側にずれることなく、リムの真ん中になるように貼付けます。



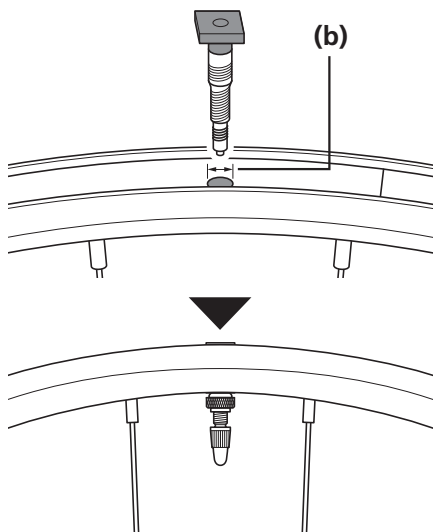
5



貼り終わりは約10cmほどオーバーラップさせます。テープの両端はしっかりとリムに密着させてください。

(a) オーバーラップ部 (約10cm)

6



バルブ穴部にφ3mm程度の下穴を空け、バルブをはめてください。

(b) φ約3mm

■ チューブラータイヤ用リムのご使用に関する注意事項

安全のために必ずお守りください。

⚠ 警 告

チューブラータイヤは軽量でまた、しなやかなコーナリング特性を持っていることから広くレースに使用されていますが、反面クリンチャータイヤに比べて取扱いに十分な知識が必要でまた、メンテナンスにも特段の注意が要求されます。

加えて使用前に車輪の点検が必ず必要です。

これらの事を遂行することにより本来の優れた性能をお楽しみいただけますが、これらの事を怠ればタイヤの外れ、タイヤの破損により重傷を負うおそれがあります。

ご使用に関しては下記の点に十分注意してください。なお、装脱着およびメンテナンスの経験、知識が十分でない人は認定店に装脱着およびメンテナンスを依頼してください。

十分な知識、メンテナンスなどが期待できない場合は使用しないでください。

- タイヤの固定にはチューブラータイヤ専用の接着剤を使用します。それ以外の接着剤を使用するとタイヤの固定力不足やリムの材質劣化のおそれがあります。
- リムの面の洗浄にはチューブラータイヤ専用の洗浄剤を使用します。それ以外の洗浄剤を使用するとリムの材質劣化のおそれがあります。カーボンリムの場合は、リムの面を紙やすりなどで強く磨かないでください。タイヤを交換する際、リムのカーボン層が剥がれるおそれがあります。
- リムの面に十分接着剤が固定されていないとタイヤが容易に外れることがあります。特に初めて使用する場合は必ずリムの面を洗浄剤で洗浄し油分などを取除き、そのあと接着剤をリムの面に薄く塗布し、しっかりとしたリムの面と接着剤との結合を作りあげます。そのあとタイヤの接着面の粗さをカバーするだけの十分な量の接着剤をリムの面に均等に塗布しタイヤを取付けます。カーボンリムの場合は、接着方法、接着剤、洗浄剤の設定が正しくないとアルミ材質リムに比べてタイヤ接着固定強度に差が出たりカーボン材質リムの強度劣化を起こす場合がありますので特に注意ください。
- 接着剤は種類によって接着力、接着までの早さ、接着の耐久性、気温および湿度への感度が大きく異なります。したがって接着力のチェックに特に注意を払いながら車輪を使用します。
- 使用前にはその都度必ずタイヤの接着が十分かどうかタイヤに力をかけ確認してください。
- 長期間の使用ではタイヤ接着力が落ちてくるので定期的に接着剤を塗り直します。タイヤを交換する際、カーボンリムの場合はリムのカーボン層が剥がれるおそれがありますので、リムセメントクリーナーなどを用いてゆっくりとタイヤを引き剥がしてください。
- タイヤをリムに取付ける時にタイヤの接着面に接着剤を塗布しない場合、タイヤとリムとの固定力が弱くなります。コーナリングや加速の激しいクリテリウム競技やトラック競技のようにタイヤがしっかりと付いていてほしい場合には、タイヤにも接着剤を塗布しリムに装着することをお勧めします。
- 長い下り坂などで連続したブレーキの使用により、リムが高温になる場合、タイヤ接着力が急激に失われる場合があります。このような使用が予想される場合には、特に接着剤の選定と接着のやり直しなどの予防策を実施します。それでも接着力が失われる場合がありますので、その場合は車輪を交換するなどして使用を中止します。
- タイヤも使用前にチェックします。タイヤに大きな切れ目がある場合には、バーストを起こすおそれがありますので交換します。また長期間の使用でタイヤの縫い目のカバーがタイヤから外れることがありますので、乗車前に点検します。
- 異常や不具合を感じられた場合には使用を中止し認定店あるいは弊社お客様相談窓口にご相談ください。
- 取扱い方法およびメンテナンスについて疑問のある方は、購入された認定店にご相談ください。

使用上の注意

- 接着剤がリムの塗装部に付着した場合、乾く前に布などで拭き取って下さい。リムセメントクリーナーなどの洗浄液や薬品などを使用すると塗装が剥がれる場合があります。

■ チューブレスタイヤの脱着方法

安全のために必ずお守りください。

⚠ 警 告

- 取扱説明書はよくお読みになった後、大切に保管してください。

⚠ 注 意

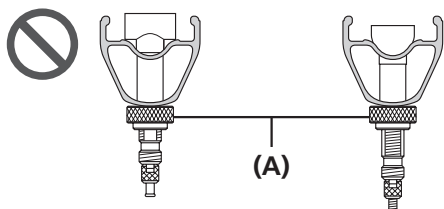
- インナーチューブ使用時にもリムテープは使用しないでください。タイヤの脱着が困難になり、その際タイヤチューブを傷つけることがあり、突然のパンクによる転倒などのおそれがあります。
- タイヤの脱着は必ず手で行ってください。タイヤレバーやその他のツールを決して使用しないでください。タイヤとリムのエアシール部にダメージを与え、空気漏れを起こすおそれがあります。
- バルブナットを締過ぎるとバルブシールが変形して、空気漏れを起こすおそれがあります。

使用上の注意

- タイヤがはめにくい時は、水あるいは石けん水を使用してすべりをよくしてください。
- 通常の使用において自然に生じた摩耗および品質の経年劣化は保証いたしません。

使用方法

<チューブレスバルブの装着>



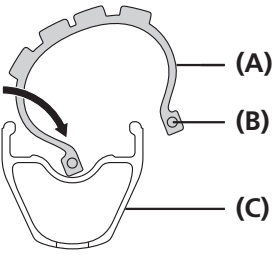
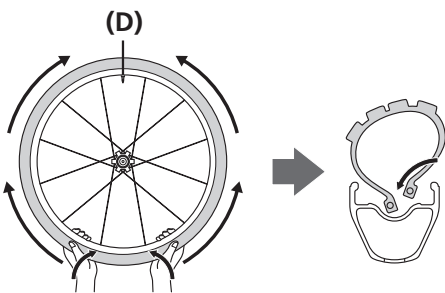
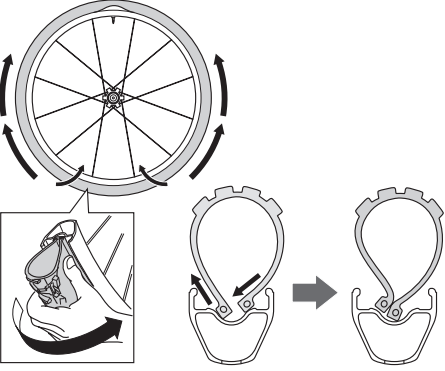
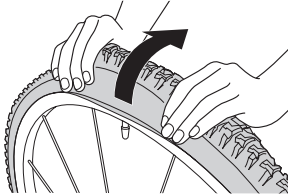
図のようにバルブの向きに注意して取付けてください。

(A) バルブナット

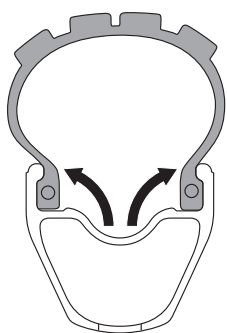
注 意

バルブナットを締込んだ時にバルブとバルブナットが共回りしていないことを確認してください。

<タイヤの装着>

1		図のようにタイヤの片方のビードをはめ込みます。 この時、タイヤビード部、リムおよびバルブ部にゴミや傷がないことを確認してください。	(A) タイヤ (B) ビード (C) リム
2		エアバルブの反対側からもう一方のビードをセットします。	(D) エアバルブ
3		エアバルブ側は入れにくくなります。その場合反対側の入っているほうのビードを手で上に押し上げる動作をエアバルブのところまで繰り返します。	
4		最後に図のように両手でタイヤを握って、タイヤをリムに入れます。	

5



空気を入れてタイヤのビードを図のようにリムにロックさせます。
この後一度空気を抜いてビードがリムにロックされていることを確認します。再度使用される空気圧まで空気を入れてください。
ビードがロックされていないと空気を抜いた時にビードがリムから外れます。

警告

- タイヤおよびリムに表示されている適切な空気圧で使用してください。タイヤとリムに最大空気圧の指示がある場合は、低い方の値を超えないようにしてください。

<WH-M9000-TL>

最大空気圧

2.8bar / 41psi / 280kPa

<WH-M9020-TL>

最大空気圧

2.6bar / 38psi / 260kPa

<WH-M8000-TL/WH-M8020-TL>

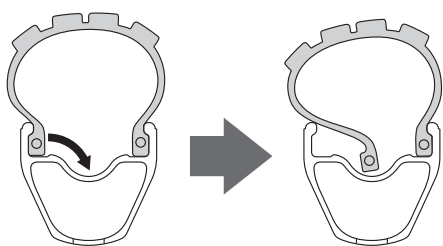
最大空気圧

3bar / 44psi / 300kPa

- 指示よりも高い空気圧で使用した場合、突然のパンクおよび/または突然のタイヤ外れにより重傷を負うおそれがあります。

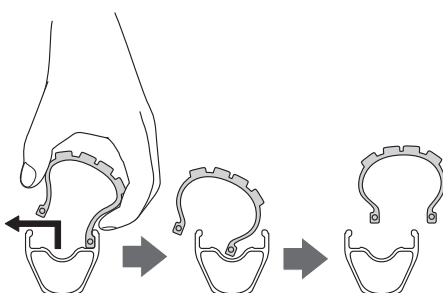
<タイヤの取外し>

1



タイヤの空気を抜いてから片方のビードを図のようにリムのハンプの内側の溝に落とし込ませます。

2



エアバルブ側から片方のビードを取外し、その後もう一方のビードを取外します。

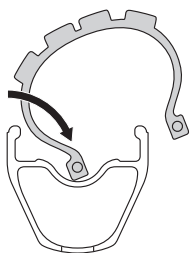
TECH TIPS

ビードは必ず片側だけ落とし込んでください。
両側を落とし込むとタイヤが外しにくくなります。両方落とし込んだ場合はもう一度空気を入れてビードをロックさせ、タイヤの取外しの最初の手順に戻ってください。

<インナーチューブ使用時の注意>

- 1 エアバルブのロックリングを緩め、エアバルブを外します。

2



図のようにタイヤの片方のビードをはめ込みます。

3

リム外周部とタイヤビード部を十分に濡らし、少し膨らませたインナーチューブをタイヤの中にすべらせるように装着します。

4

エアバルブの反対側からビードをはめ込んでください。
この時、チューブを挟まないように注意してください。
必要であれば、石けん水をお使いください。

5

タイヤがロックされるまでインナーチューブを膨らませてください。

注 意

- インナーチューブのエアバルブがリムに対応するか確認してください。
- 対応チューブの仕様については認定店にご相談ください。

注 意

インナーチューブ使用時に、リムテープは使用しないでください。タイヤの脱着が困難になり、その際タイヤチューブを傷つけることがあり、突然のパンクによる転倒などのおそれがあります。



製品改良のため、仕様の一部を予告なく変更することがあります。

お客様相談窓口

☎ 0570-031961 Fax. 072-243-7847

株式会社 **シマノ**

〒590-8577 堺市堺区老松町3丁77番地